

富士北麓・中/茶屋

2011年4月17日 リーダー:佐藤きよみ



葛山山頂にて▲

紅富士の湯にて▲

4月 山行報告

まだまだ余震が多く心配をしながら参加して下さった方も多いいらしゃったと思います。24名の皆様ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。富士北麓のマメ桜は開花に10日程早く桜祭りののぼりが本当に恨めしかったです。でも、数人が咲き始めたマメ桜を見たそうで、まあ、良しとしてください。しかし、この季節は車窓から冠雪した富士山、山桜、連翹、菜の花などなど見ることが出来、ほんの少し心が温かくなったかなと思っています。その後、立ち寄った忍野八海では自由昼食、散策をして温泉でのんびりと湯に浸かり帰路。いささか消化不良の山行であったことお詫びいたします。

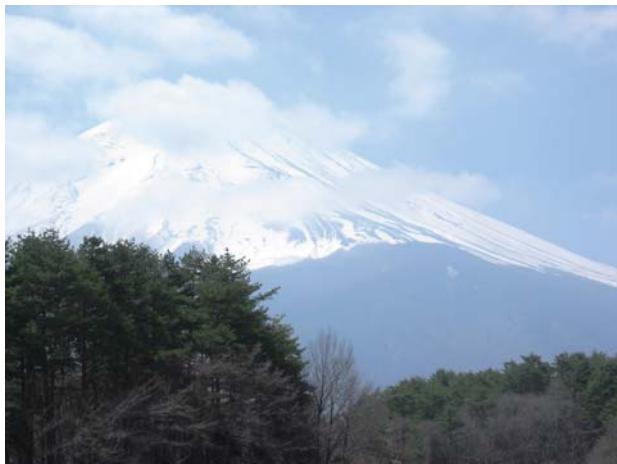
《4月担当リーダー佐藤きよみ》



エントリー制についての補足です。

予め毎月エントリーしていただいているリストをリーダーは元にして人数を把握しておりますのでその月に都合で不参加の方、又、エントリーはしていなかったが行けるようになった方は早めに月のリーダーにご連絡をお願いします。なお、不明点も遠慮なくご確認下さい。エントリー制が徹底して山行がスムーズにいきますようにご協力の程を!

晴天に恵まれ、浦和ICから首都高速C2～4号新宿線までは順調、中央高速道に入ると事故渋滞で時間を食ったがその後は富士吉田まで順調、気づくと富士北麓中の茶屋に到着、トイレを済まして林道をスタート、本来ならここはマメザクラ群落地で美しいはずとガイドブックのサクラの写真を見ながら…サクラはいはずれも可憐に蕾みで残念。思い直して吉田胎内洞窟見学、ちょっとしたハイキングもして、環境科学研究所への橋上で漸く富士山を撮る、黄色のネコヤナギのような樹と富士北麓公園でほんの少しのマメザクラが開いていたのを見た。今日はサクラ撮影はなしでバスに戻り忍野八海へ行き昼は蕎麦で蕎麦焼酎にした。(おにぎりは帰りの車内に食べればと)その後は虹富士の湯でゆっくりくつろいでから記念写真を撮り、富士山の写真も数枚撮れて帰路に、リーダーきよみサン大健闘でご苦労様そしてお世話様でした。《藤井一義》 橋から見た富士山▼



今日は好天にめぐまれ、富士山を近くからさまざまな角度で見ることができてラッキーでした。

さすがにこの時期でも、五合目から上は雪を被っていて、あらためて里の春とは違う、高山の厳しさを感じました。

まめ桜もまだつぼみの状態で、今年は例年より山の春の訪問が遅れているようです。

まめ桜は咲いていませんでしたが、バスの中は別な桜が満開でしたから、それなりにワイワイ楽しく一日を過ごせました。毎回、楽しく参加させていただきありがとうございます。

忍野八階で昼食をとりましたが、弁当を持参していたため、「ほうとう」が食べられなかったことだけは残念無念です。《樋口保二》

黄色いネコ
ヤナギ?▶



下山▼



富士と梅と日だまりハイク

東日本大震災から1ヶ月を過ぎました。被災地では全力で復興に向かってがんばっている時、遊友のメンバーとバスハイクに参加できることは幸せな事だと思います。

今年初めての参加です。好天に恵まれ威風堂々と白き富士を仰ぎバスは富士北麓、中の茶屋に着いた。中の茶屋は締まっていた。樹々の間の日だまりの中、会長の提案で被災地に福祉協議会を通して会より2万円の義援金を送ることを参加者全員で承認し被災地方に向かって全員で黙祷しました。

本日の花マメザクラ群生地は、冬が長かった為、本来なら樹木の間に美しく彩ったであろう桜は蕾もかたい。満開に咲いた桜をイメージ、それでも2・3人の方は五・六粒の花を見つけたとの事。心地よく枯れ葉を踏みしめて溶岩で大木が固まった溶岩樹型を観察し環境科学研究所を目指してミニ縦走?忍野八海に行き昼食となりましたがいつもの様に全員同じ場所とはいかななかったのが残念でした。紅富士の湯でゆっくりでき本日のバスハイクは無事終了しました。健脚の皆さん歩き足りなかったと思いますが、今日一日お付き合い頂きありがとうございました。《浜崎敏子》



北麓公園へ

5月の山行案内

高原の眺望・飯盛山(めしもりやま)一般向き歩程約4時間

清里高原の東に位置する飯盛山は、お茶碗に丸く盛られたご飯のような山容をしている草原の山です。山頂からは八ヶ岳連峰、南アルプス、富士山、奥秩父などが一望できます。

山口は清里で下山は獅子岩を経由し鉄道最高地点に寄ります。

日 時：5月15日(日)

集 合：せんげん台=5:45 春日部=6:00

持ち物：昼食・雨具、適宜山用具・着替え（風呂は未定）

申込み：5月8日(日)まで

藤井一義へ TEL : 048-977-8229

携帯 090-9108-0922

エントリー済みの方は申し込みの

必要ありません。



遊友ハイキングクラブ会員一同様

遊友ハイキングクラブ会長 伊藤 松雄 東日本大震災救援募金について

このたびの東日本大地震、大津波でお亡くなりになった方々に心からご冥福をお祈り申しあげます。あわせて被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

さて私たち遊友ハイキングクラブ役員会は、東日本大震災の救援募金に協力しようと協議した結果、会員ひとり一人の皆様から募金をつくるのではなく、遊友ハイキングクラブの会計から拠出しようとしました。この内容を4月17日の山行、富士山麓バスハイクに参加された会員の方にご提案し、承認していただきました。

参加されなかった会員の皆様には事後報告になりますが、遊友ハイキングクラブの会計から2万円。会員の松沢さんから切手8千円分。合わせて2万8千円を救援基金として春日部社会福祉協議会に差し出すことにしました。

しかし2万8千円では端数なので、私の勝手で申し訳ありませんが、私個人の募金2千円追加して、遊友ハイキングクラブとして本日（4月18日）春日部社会福祉協議会に3万円差し出してきました。（領収書別紙）

どうか経過、理由をご理解していただきご協力を賜りますようご報告いたします。

No.

領 収 証	
住 所	春日部市
氏 名	遊友ハイキングクラブ 様
金額	￥ 30,000 -
(東北関東大震災 義援金) として	
(東日本大震災 義援金)	
上記金額を領収いたしました	
平成23年4月18日	
日赤春日部地区長	
石川良三	